



「子どもの本棚」

子どもたちに勧めたい本をご紹介します。
本選びの参考になさってください。



図書館
だ
よ
い

「日本の昔話」

「日本の昔話」というとどんなおはなしが思い浮かぶでしょうか。桃太郎や浦島太郎、一寸法師に花咲かじい……。誰にも昔話のいくつかは幼い日に両親や祖父母から語ってもらったり絵本を読んでもらった記憶があるのではないのでしょうか。

昔話は古くから主として農民の間で伝えられてきた物語です。それは必ず「耳」で聞かれてきました。そのため、いつのまにか、聞いて分かりやすい簡潔な文体になりました。また聞いて覚えたものを語るため、同じ型の話でも幾世代にもわたって語り継がれるうちに変化しながら、磨かれて来ました。

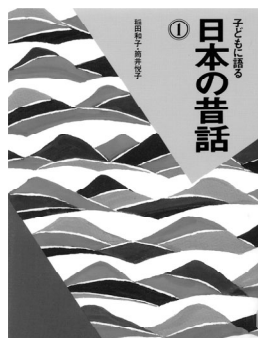
現在、昔話の本は数多く出版されています。子どもたちのために昔話の本を選ばれる際には、「昔話の本質に忠実に」描かれた本を選んであげてください。

昔話には相手を殺したり、食べてしまったりする場面が度々出てきます。そのために残酷であると排除されたり、そのような場面や表現を変更されたりしていることがよくあります。人間も含めて動物の生命は、残酷な面も持っているということを恐れずに語っているところに昔話の価値があります。しかし昔話はそういう場面を写実的には描きません。例えば「食った」というだけで、どうやって食ったか、食われたものの苦しみなどは語りません。

昔話は「むかしむかしあるところに…」と始まります。“むかし”は“向こう”からきた言葉だと解釈する研究者もいます。つまり「今の現実とは別の世界の話ですよ」、時代も場所も人物も不特定で「さあ、お話が始まりますよ」という挨拶なのです。そしてお話の終わりには「猿のつべは、ぎんがりこ」（高知）「どっとはらい」などの地方独特の結びの句で、「これでお話はおしまい」と教えてくれます。

人の死や、他人の痛みが解らない子どもが増えていくことを昨今よく耳にします。生きたことばの体験の中で、昔話からむごさや愚かさ、賢さを知ることは、他人の痛みや悲しみを推し量ることもつながっていくのではないのでしょうか。子どもたちは、怖い話でもいざと言うとき逃げこめる信頼できる大人（家族や先生）が語ってくれることで、安心してお話の世界に入っていきます。大好きな人から絵本を読んでもらったり、お話をしてもらった経験はきっと、子どもたちが人生の中で困難にぶつかった時、強く生きる励ましになることでしょう。

(司書 畑山 里美)



Peek a Boo

～あかちゃんとおかあさんの絵本の時間～

10月19日(火) 10:30～11:00

乳幼児と保護者を対象に、

1階・絵本コーナーで手遊びや

読みみかせをしています。

どなたでもお気軽においでください。

【むかしばなしの本】

「かさじぞう」 瀬田貞二・再話

「かちかちやま」 おざわとしお・再話

「くわすにようぼう」 稲田和子・再話

「こぶじいさま」 松井直・再話

「したきりすずめ」 石井桃子・再話



「だいくとおにろく」
松井直・再話



「ももたろう」
松井直・再話／赤羽末吉・絵

「いっすんぼうし」 石井桃子・再話

「うらしまたろう」

時田史郎・再話／秋野不矩・絵 / 福音館書店

「日本の昔話 (全5巻)」

おざわとしお・著／赤羽末吉・画／福音館書店

「子どもに語る日本の昔話 (全3巻)」

稲田和子、筒井悦子・著／こぐま社

「日本のむかしばなし」 瀬田貞二・文／のら書店
他

* 図書館のご利用について *

いの町（旧伊野町・吾北村・本川村）在住又は通学・勤務されている方及び鏡村・高知市・春野町・土佐市・日高村に在住の方に貸出をしています。
※利用申込みの際は、身分証明証（免許証、保険証など）をお持ちください。

開館時間	本館	9:30～18:00
	枝川分室	
休館日	本館	月・館内整理日(29日)
	枝川分室	月・水・金・日
電話番号	本館	☎ 850-4360
	枝川分室	☎ 850-4350

<http://inolib.town.ino.kochi.jp>